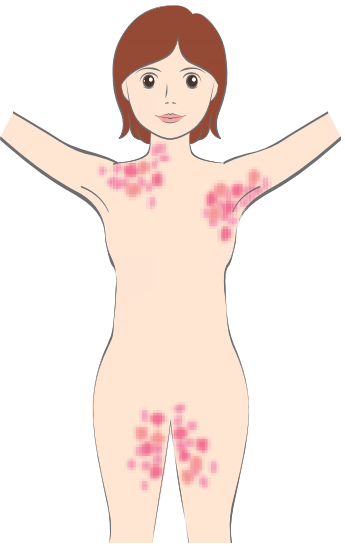


脇の下や股間のじくじくしたかぶれが治りません
「ヘイリー・ヘイリー病」の疑いがあります

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

ヘイリー・ヘイリー病の
症状



首筋、脇の下、股間、うしを疑います。皮膚の
肛門周辺など、こすれや組織検査で病名を確定し
すいところにてきた水ぶます」
くれや水疱が、次第に拡大し、赤くただれてなかなか治らないことがあります。この症状について、
立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。
「中高年の人で、治つたよつにみえて、また再発するしつこい皮膚症状があり、夏に悪化傾向がある場合、ヘイリー・ヘイリー病、家族性良性イリー病、家族性良性慢性天疱瘡（てんぼうそ
原因は？
「ATP2C1という遺伝子の変異が原因です。気温の上昇や多湿
摩擦、細菌感染などで悪化、再発を繰り返す疾患です。重症化すると、1力所が手のひら大の大きさになり、初期症状にはステロイド軟膏の外用薬、活性型ビタミンD3軟膏を処方します。患部に細菌、真菌の合併症がある場合、抗菌、抗真菌剤の外
薬も併用します。重症化した時にはビタミンA誘導体・レチノイドの内服薬を処方。さらに重症化したときは、ステロイド剤の外用剤、内服薬、免疫抑制剤の内服薬を処方します。治りにくい疾患ですが、薬によるコントロールで症状を抑えることを目指します。重症化する前に治療を開始することが大切です」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2016年8月20日付 「リビング多摩」に掲載されました